



男鹿西海岸運航ルート

Discover Oga West Coast

時代はかわっても、かわらない 息をのむ絶景。

男鹿半島は、古くから山岳信仰の霊場として知られており、江戸時代の17世紀半ばから後半にかけて秋田藩狩野派の絵師によって描かれたと伝えられる「男鹿図屏風」には、現在は一部陸続きとなっている海岸線の美しい島々や、一部現存しない数多くの堂社をめぐる人々の様子が描かれています。古の人々の信仰の旅に想いを巡らせながら、時空を超えた絶景クルーズをお楽しみください。



秋田県指定文化財「紙本金地着色男鹿図屏風」(秋田県立博物館蔵) 模写(男鹿市教育委員会)

*背景が白色の名称は、オリジナルには記載のないものです。また、一部名称は表記の拡大等の加工を行っています。



※写真提供：男鹿半島・大瀬ジオパーク推進協議会 ●現代の名称で記載しているため、「男鹿図屏風」とは一部表記が異なります。●写真はすべてイメージです。船からは見えないものや、船からのアングルとは異なるものもあります。